

ASAP

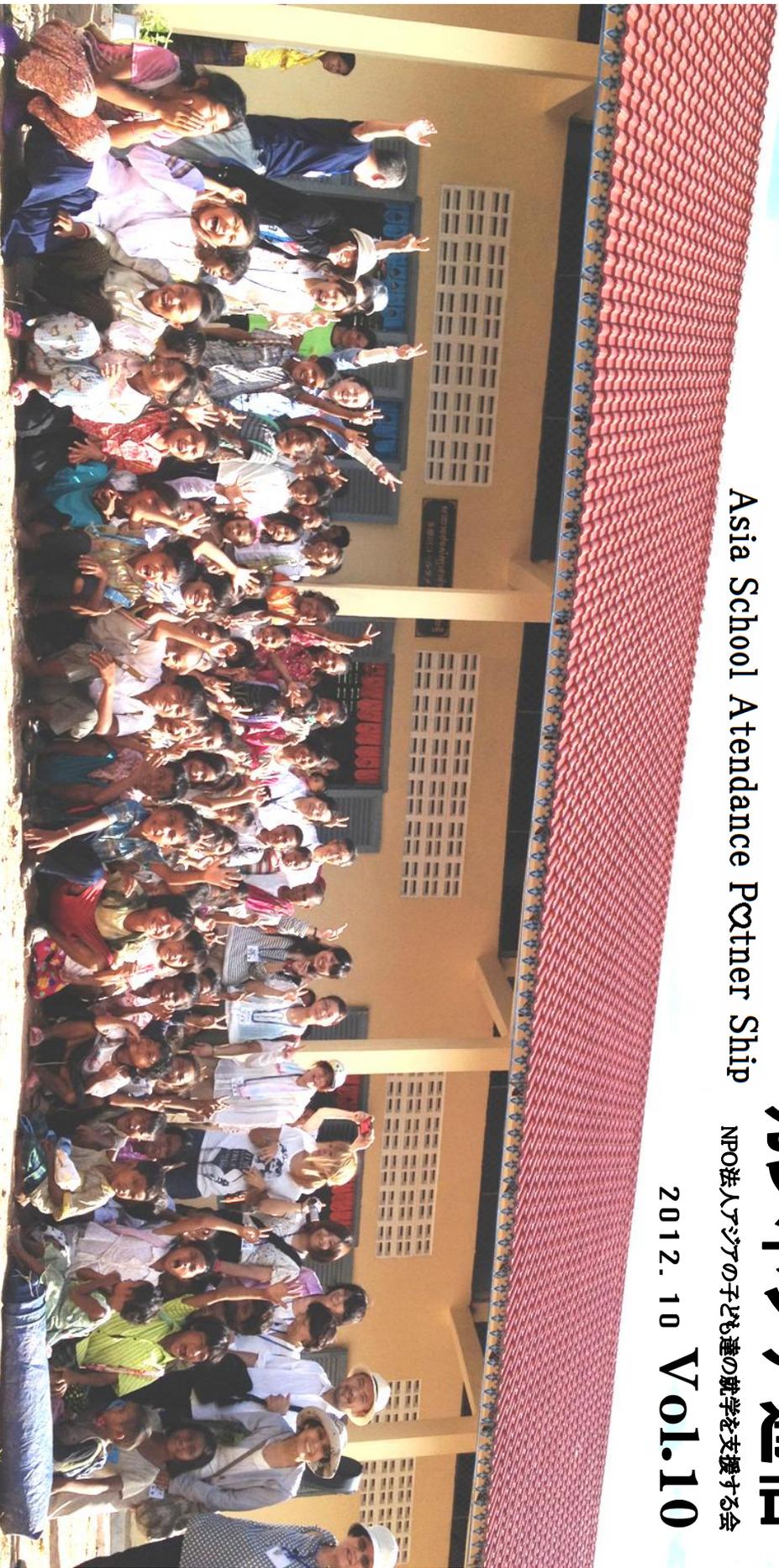
あきる野多摩川学園カンボジア校
カンボジア通信

Asia School Attendance Partner Ship

NPO法人アジアの子ども達の就学を支援する会

2012. 10 Vol.10

村に小学校ができたよ！！多摩川コーラルタメイ小学校ついに完成！



第16回視察訪問の報告

理事長 長谷川 安年

平成24年8月28日～9月2日、第16回視察支援ツアーを無事終了いたしました。ASAPの寄贈5校目となりますコールタメイ小学校が完成し、シアン・ブレマン大臣のご出席を頂き、地区をあげての落成式が行われました。小学校がない村に、小学校を開校できたことは、格別の喜びとなりました。学校は村長と協議の上「**多摩川コールタメイ小学校**」と名づけ、私達はトロク、タットム校同様、この学校も継続的に支援して参ります。



記帳の様子。後方はシアン・ブレマン大臣

学校には当然ながら井戸もない為、深井戸も寄贈し、地域の人々にも使っていただく事で住村民の健康と福祉に貢献することもできました。また、学校教育充実のためは教員の充実が欠かせませんが、村に先生はいません。遠方より通う先生のための宿舍も必要となりました。しかしながらこれはASAPの予算の関係上すぐには難しかった為、私達夫婦から「妻の喜寿の記念」として寄贈させていただきました。木造高床式2部屋の建物で、炊事場やトイレもあり、想像以上に素敵なものとなりました。

今回のツアーは今までになく大勢の27名の参加者で行われましたが、皆様が現地では大変積極的に子どもたちと交流してくださり、参加してよかったとの嬉しい言葉を多数いただきました。回を重ねるごとに支援活動への賛同者が増え、理事長として心より嬉しく思い感謝し心よりお礼を申し上げます。

訪問の様子及び活動報告の詳細をご報告させていただきますのでご覧下さい。



1年前はこんな土地が…



多摩川コールドタメイ落成式の様子

かつてない大型台風韓国上陸のその当日が韓国経由で出発予定だったため、成田に集合したものの『フライト欠航』の状態に真っ青！！大臣をはじめ村人 1000 人が出席する落成式を翌日に控えています。電話などなく、1000 人に延期を伝えるなど至難の業です。どうしよう…！！「本日の発券は一切していません」という他航空会社のカウンターに直談判し、奇跡的に発券していただくことができ（さぞ切迫した形相だったのでしょう！）、明け方の 5 時にシムリアップにたどり着きました。休む時間もなく落成式に向かい、無事に時間通り出席できました。まさに冷や汗の出る綱渡り、「神様ありがとう！！」という心境でした。（シムリアップの空港ではなんと 4 名のトランクがロストバゲージという事件まで起きました！）

ほとんどの大人は字が読めず、新聞やテレビもほとんどない村において、村人が大勢集まるこの様な場合は、国から「就学指導」「交通安全指導」「衛生教育」「選挙の仕方」などを話す大切な機会ということで、大臣の話は炎天下のもと 1 時間半にも及びましたが、式は無事終了し、10 月 1 日からの始業式を待つばかりです！



落成式の様子が新聞に掲載されました



学生のリコーダーに合わせて「さくら」を踊ってくださった参加者の皆様



マンゴー等の果物の木を植林してきました。
将来果実園で学校運営費を？！



理事長夫妻から寄贈の職員宿舎。いつか泊まって夜空の星を眺めてみたい…なんて思わせるかわいい建物でした。

トロク、タットム小学校の様子

ルムチェック村の未就学児童はゼロの状態が続き、タットム、トロク小ともに各学年の中退者が2～5人と減ってきています。(中退理由—出稼ぎで村を出る為)支援を始めた7年前の就学率は5割前後。4～5年に進学する時点での中退者がかなり多かったので、本当に嬉しいことです！国で「子どもを学校へ行かそう」キャンペーンが行われていることもあり、「小学校を卒業させよう」という親の意識の変化を感じます。トロク、タットム小学校の様子をお伝えします。

教室に水溜りが… (トロク小)

トロク小学校から雨漏りのひどい屋根の補修をお願いできないか相談がありました。

この校舎は ASAP によるものではありませんが、見捨てるわけには行きません。瓦全体を取り替えずに修理が可能か検討します。



先生がいらない?? (トロク小)

定期的に支援校を訪問してくださっている現地サポーター渡辺さんから「時々先生がいない時がある」という報告を受けました。先生不足解消のために ASAP は教育支援金を支給して先生たちを応援している ASAP として、これは由々しき問題です。

今回の訪問ではその問題を強く問いました。先生不在の理由は「会議や報告のために出かけなくてはならないことが多い」ということでした。他の先生がサポートに入る体制を整えて、子どもたちのために協力し合うべきだと話し合いました。

小学校の先生たちは中学校を出て数ヶ月研修を受けただけで、先生たちの夢が「高校に行きたい」という状態です。抜けた学年の授業を他の先生がすぐにサポートできる程の能力を皆がもっているわけではないのですが、「問題」として改善しなくてはなりません。

寄贈校舎に図書室誕生！ (タットム小)

寄贈した新校舎に、アメリカの図書支援団体から無事に図書一式の支援を受けられたとの報告がありました。「本」「棚」の支援条件となる『床のタイル貼り、窓の格子、鍵のかかる戸』等を ASAP で支援しました。ポルポト政権でカンボジアの国では「読書習慣」が完全に崩壊したそうです。読書を復活させるために大きな役割を担うこととなる小学校の図書室整備に、皆様からの支援金が活かされたことに喜びを感じました。



教育所長さんとのバトルその後

(タットム小)

旧校舎取り壊しの件で教育所長さんと交わされたバトル事件を覚えていらっしゃいますか？
バトル後の和解の結果、無事子ども達や父兄の手によって校舎の取り壊しが行われ、広い校庭となりました。こじんまりとした素敵な学校になりました。



村の大人と一緒に、子どもたちも一生懸命手伝いました。日本なら「危ないから近寄るな！」でしょうね…。

スーパー井戸の抱える問題 (タットム小)

水道機能を持つスーパー井戸が完成してから一年。
実際に使い始めてみると、考えてもいなかった問題が生じています。

「子どもたちに水道の蛇口を締める習慣がない」 為にタンクが空になって水が出なくなった時、(トイレの) 蛇口を開けっ放しにしてしまい、次にタンクに水を貯めたとき、水が流れ出てしまうことが度々おきるのだそうです。また、内部の掃除を頻繁に行っている様子が見られなかったため、もう一度スーパー井戸を作った経緯をお互いに確認し合い、水道の使い方を子どもたちに何度も指導し、先生たちはタンク内の整備をしっかりと行うように要請しました。

野良牛問題！？ (タットム小)

「牛が入ってきて、校庭の花や野菜などを食べたり糞をしてしまう」。その為門を支援していただけないかと相談がありました。野良猫ではなく、野良牛！！(正確には放牧されている牛ですが)。お国柄ですね～！確かにトロク小学校の方には門があります。

先生たちも既に木材で柵を作ったりと努力はされていたので、**「スーパー井戸をしっかり管理できたら支援する」**という事になりました。

学校対抗ドッジボール大会開催！

ポルポト政権で知識人が軒並み殺されてしまった歴史を持つカンボジアでは、先生自身が体育や音楽、絵画の指導をうけたことがない為教えることができず、そういった授業はありません。そのため、ASAPでは訪問時に子どもたちに体育・音楽・絵画等の体験をさせてあげようと、色々な計画を実施してきました。そのひとつがドッジボールです。

訪問3回にわたり繰り返し教えてきたのですが、現地サポーターから、「こどもたちがドッジボールで遊んでいる！」という報告を受け、「タットムとトロクの対抗試合」という計画をたてました。

試合会場はトロク小学校。試合どころか、トロク小学校にタットム小学校の生徒が来ることさえ初めてのことだったので、どうなるのかと不安でしたが、そんな不安は試合が始まってすぐに吹き飛びました！

ツアー参加者の皆様のおかげで、子どもたちは試合の面白さに気付き、かなりの盛り上がり方でした！5試合の結果、用意したトロフィーはタットム小に渡りました。

この対抗試合を、年に一度の恒例行事にしたいと思います。



真剣なボールの奪い合い、飛び交う超スピードボール、みんな真剣でした！



5試合の結果タットム小が優勝！



私達が乗ってきたバスでタットム小に帰る子どもたち。「さよなら～！！」



初めて乗る大型バス&優勝で、帰りのバスの中は一緒に歌った歌「アラピア」の大合唱だったそうです

子ども達との交流の様子

現状のカンボジアの教育現場ではなかなかできない活動を子どもたちに体験させると同時に
◆外国人の垣根を低くし、留学、仕事を考える視野を広げさせられる◆日本に親近感をもってもらうことは平和教育にとって一番である等、こんな思いで企画をしています。



カンボジアの歌を歌って踊って大盛り上がり！言葉は通じなくても、子どもたちと心がつながった楽しいひと時でした。



シャボン玉に夢中になりました！



縄跳びはできたかな？



日本から用意してくださった実物大の見本のおかげで、先生たちにも大人気の折り紙でした。



ご持参いただいたギターやウクレレのおかげで
どこでもすすぐに音楽が！



カラフルな風船が校庭に飛び交いました

Mother to Mother 報告

通学バックプレゼント 実現！！



「全国から届いた布の一部でカバンを持たない子どもたちに通学リュックをプレゼントしよう！」プロジェクトがついに実現しました。こどもやお母さんたちは大喜び！！
布を縫ってくれたのはカンボジアの Mothe to Mother のお母さんたち。縫うことで収入にもなりました。布の送料、縫ったお母さんへのお礼の費用を支えてくださっているのは皆様からのご寄付です。本当にありがたいことです。布はまだあるので引き続きできたら良いと考えています。応援お願いします！



校庭は既にゴミだらけ。リュックは校庭に落ちているゴミ 10 個と引換です。「学校を綺麗に！」ここからスタートです。
ゴミを拾うなんて、子どもたち初めてだったでしょうね（^^）

今回のツアーには、毎月第3週木曜（午後 1:30～4:00）に行われている「ボランティアの日」に参加して、布の整備を手伝ってくださっている方たち 4 名が参加し、お母さん達への説明を手伝って下さり大変助かりました。**お母さんたちは皆字が読めないし書けません。ということは、伝達事項は覚えてもらうしかないということです。教育の大切さを痛感させられます。**



布に型紙を置いて切る方法を説明している様子。皆真剣に話を聞きます

大失敗を告白します…

製作費用をお母さんたちに支払う時、なんと、お母さんたちに2倍の支払いをしてしまうという大失態をしてしまいました。気づいたのは学校からの帰りのバスの中。全身から汗が吹き出し、通訳を手伝ってくださっているポッパーさんは呆れ顔…。翌日再度村を訪れお母さんたちを集め、払いすぎた分の返金をお願いしたのですが、お母さん達の気持ちを考えると泣きたい気分…。そんな私を救ってくれたのはそのお母さんたちでした。「なんだか多すぎると思ったのよ〜〜！」と全員が1ドルも欠けることなく気持ちよく返してくれたのです。言葉は理解できませんでしたが、「あなたもかなりおっちょこちょいなね〜」的に皆にこずかれました。

してはならない失敗でしたが、お母さんたちとの信頼関係が確かめられた出来事になりました。

心強いご支援ご協力ありがとうございます！

- ◆ 全国の保育園に配布されている保育&食育情報ペーパー「すくすく通信」に掲載いただき、応援いただいています
- ◆ (株)ラッシュジャパン様から、草の根支援をしている団体に助成する「チャリティーバンク」より Mother to Mother に助成金をいただきました
- ◆ 「みらい人」「TABASA」店にて販売のご協力をいただいています
- ◆ 布問屋「小林彪商店」「安田商店」様より布の支援ご協力を頂いています
- ◆ 卒業記念品・お料理エプロン・クリスマスプレゼント用に、特別注文品など下記園よりご協力頂きました。



昭島松原保育園 昭島ゆりかご保育園 あすなろ保育園 あすま保育園 むぎの穂第2保育園
 康保会保育園 さくら木保育園 至誠第2保育園 多摩川幼稚園 多摩平幼稚園 天徳幼稚園
 常盤が丘幼稚園 明照幼稚園 光の子保育園 みそら幼稚園 若竹保育園 至誠太陽の子保育園杉ノ子
 保育園 杉ノ子第2保育園 杉ノ子第3保育園 玉川学園幼稚部 かしの木幼稚園

支援ツアーに参加して

◆立原 果奈さん (大学3年生)

今回、初めてASAPの活動に参加させていただきました。

日本がどれだけ恵まれていて、どれだけ物を無駄にして過ごしているのかを目の当たりにした支援ツアーでした。一方、「もっと頑張ろう」と温かい気持ちになって終えることのできたツアーでした。十分な飲み水や食べ物がない、家にはハンモック1つがあるだけ、それでも村の子供たちの笑顔はきらきら輝いていました。ドッジボールで嬉しそうにはしゃぐ子供たちや、折った折り紙を大事に箱に閉まっている子供たち、とにかく村にはたくさんの子供の笑顔が溢れていました。

私の持っているデジカメに興味津津だったり、プレゼントしたシャボン玉を少し遊んでは大事そうにポケットに閉ったり、マニキュアを塗って遊んでいたときは、男の子も興味津津で、色々なことを習得しようという姿勢を感じ、子供たちには、「知りたい」「学びたい」がいっぱい詰まっていたように感じました。

そんな子供たちの笑顔を見て、今回の支援だけでは終われないと強く思いました。「偽善」「自己満足」という言葉があるけれど、カンボジアの子供たちが少しでも「楽しい」と感じられるのならば、村の人たちの助けになるという事実があるのならば、絶対に支援を続けたいと実感しました。色々な縁が重なって、ASAPの人達とかかわることができ、カンボジアの支援ができたことを誇りに思います。

◆下村 千春さん (幼稚園教諭)

初めてのカンボジア訪問は、私のこれからの生き方を明確にしてくれるとても素敵な出来事となりました。

ツアーに参加されたたくさんの人たちのたくさんの笑顔や、カンボジアの皆さんへの温かい心に触れ、こんなにも誰かの為に頑張る人がいるのだと実感することができ、感動しました。私1人が参加しても、大きな役目はないかな…なんて思っていたことが恥ずかしいです。どんなに小さな働きでも、動いた分だけ成果はついてくるのだと皆さんを見ていて思いました。

＞そして、私にできることは？？と考えたときに出た自分なりの答えは、幼児教育に携わるものとして、日本を担っていくこの子どもたちの未来の暮らしがより豊かに、そして笑顔溢れるものであるよう、私は一日一日大切に保育を行っていこう！！と強く思いました。物が溢れ、カンボジアと比べるととても贅沢な暮らしが日本にはありますが、そのせいでなくしてしまったカンボジアのような温かさもあるような気がしています。

＞目に見えず回り知ることではできませんが、人との繋がりや自然との共存など、子どもたちへ伝えておきたいことがたくさん見つかりました。

＞そして、カンボジアの子どもたちと触れ合うことでたくさんの笑顔が生まれるよう、また訪問してみたいです。今回出会えたたくさんの方々に感謝申し上げます。そして、これからも持続的な支援ができるよう頑張ります。

ありがとうございました



始めてカンボジアに行った方は、世界遺産のアンコールワット見学です！

視察報告

カンボジアの教育の現状を知るために、訪問時には他の小学校を視察訪問しています。今回も教室がほしいという小学校2か所を訪問してきました。

カンボジアの村の小学校にはたいてい3教室の校舎で、そのうち2室は職員室と図書室に使われ、残りのひと教室と外に建つ葉っぱ小屋が教室に使われています。こういった学校を見るといつも浮かぶ疑問点があります。なぜ、職員室と図書室にブロックの部屋を使い、子どもたちをあのようなぼろぼろの教室で勉強させているのか、と。「なぜ？」今まで何度も繰り返した質問ですが、帰ってくる答えはいつも一緒です。「国の決まりだから…」

本当に全く理解できない「決まり」です。確かに内戦で本を読むという文化が崩壊してしまったカンボジアの国には図書教育が欠かせない」という国の方針もあります。しかし、いくら決まりだといっても、校長の采配でもう少し臨機応変にできるのではないかと、という思いがわいてきますが、簡単にどうにか出来る問題ではありません。

そして、そういった現状に犠牲になっているのは、子ども達です。図書室や校長室を教室に使わないから、という視点ではなく、「子どもたちの就学を支援する」という ASAP の原点を忘れずに、出来る範囲で校舎寄贈の支援も続けていきたいと思えます。

また同時に、支援先が増えても ASAP の理念「継続した支援」がきちんと実施できる様に、さらに体制を整えて行く必要があると話し合いました。



今回視察訪問したキロタチュム小学校

ASAPブログ見てね～!

パソコンで、<http://asapcambodia.blog.fc2.com/>

と打ち込みぜひ ASAP のブログをご覧ください。

支援校の事に留まらず、沢山のカンボジア情報が

届いています。素晴らしい写真が中心なので

毎日開くのが楽しみになります!

いい記事だな!と思ったら『拍手』をクリックしてね!



雨が降れば天然泥プールが! (ブログより)

平成24年度 通常総会のご報告

去る9月20日に多摩川幼稚園にて平成24年度の通常総会が開催され、平成23年度事業報告、収支決算、平成24年度事業計画、収支予算が承認されましたので概要をご報告させていただきます。

ご寄付頂きました沢山の方々に心より御礼を申し上げます。有難うございました。

1 23年度 事業報告(事業の成果)

- ◇ 平成23年度はトロク小学校、タットム小学校に対し、学校運営支援金及び教員給与の補助を通し人材の確保と教育の質的向上を促しました。
- ◇ 学齢児童および家庭に対して、引き続き新入生への制服支給と「手作り卒業アルバム」の寄贈「マザー・ツー・マザー事業」等啓発事業を継続し就学率の向上を図りました。
- ◇ シェムリアップ郊外のコールタメイ村へ4教室の小学校、スーパー井戸、教師用宿舎を寄贈しました。
- ◇ 「マザー・ツー・マザー事業」についてはトロク小学校のお母さん10名が新たに加わり総勢20名となりました。
- ◇ 上記事業の遂行及びこれにかかる調査・評価のため、23年8月、24年2月の計2回支援ツアーを実施し交流支援を行うことができました
- ◇ 「カンボジア通信 vol.1.8/9」[プチ通信]の発行、ホームページ、及びブログの充実により、国内の支援基盤の充実を図りました。

2 平成23年度 収支決算(概要) (平成23年7月1日～24年6月30日)

(単位:円)

I 経常収入の部		III その他資金収入の部	0
1 会費収入	1,016,000	IV その他資金支出の部	0
2 寄付金収入	3,500,378		
3 売上	993,018		
4 その他の収入	548		
経常収入合計	5,509,944		
II 経常支出の部			
1 事業費	4,967,273	当期収支差額	106,936
(1)教育機関運営支援	3,895,205	前期繰越収支差額	4,146,719
(2)就学困難家庭支援	804,999	次期繰越収支差額	4,253,655
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	185,449		
(4)現地事務所運営	81,620		
2 管理費	435,735		
経常支出合計	5,403,008		
経常収支差額	106,936		

3 平成24年度 事業計画(事業の実施方針)

- ◇ 引き続きトロク小学校、タットム小学校に対し、学校運営の支援及び教員給与の補助により人材の確保と教育の質的向上を促します。多摩川コールタメイ小へは支援が先走ることのないように現状を把握して学校運営に必要な支援を行います。
- ◇ 学齢児童及び家庭に対しては引き続き、新入生への制服支給と卒業生への「卒業写真」の寄贈、「マザー・ツー・マザー事業」等児童・保護者への啓発事業を継続し就学率の向上を図ります。
- ◇ 「マザー・ツー・マザー事業」については、日本国内の販売の拡大・安定を図り、トロク小保護者へ活動を広げます。
- ◇ 校舎寄贈要請のあるキロタチュム小学校の視察を継続します。
- ◇ 雨漏りのひどいトロク小学校の屋根の補修をおこないます。
- ◇ ツアー参加者による支援活動を引き続き行ってまいります
- ◇ 昨年度より進めている「認定NPO」申請準備は今年度中の認定を目指して引き続き行い、法人に対する寄付者、寄付金を増やし、財政基盤の安定をはかります。
- ◇ 広報誌の発行、ホームページおよびブログの充実による広報・支援ツアーの実施等啓発事業を継続し、支援の効率性を高め、国内の支援基盤を強化します。

4 平成24年度収支予算(概要) (平成24年7月1日～25年6月30日)

(単位:円)

I 経常収入の部		IIIその他資金収入の部	0
1会費収入	1,000,000	IVその他資金支出の部	0
2寄付金収入(助成金含む)	4,300,000		
3売上	1,000,000		
3その他の収入	1,000		
経常収入合計	6,301,000		
II経常支出の部			
1 事業費	3,500,000	当期収支差額	1,571,000
(1)教育機関運営支援	1,850,000	前期繰越収支差額	4,253,655
*校舎の補修費を含む		次期繰越収支差額	5,824,655
(2)就学困難家庭支援	950,000		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	480,000		
(4)現地事務所運営	220,000		
2 管理費	1,230,000		
経常支出合計	4,730,000		
経常収支差額	1,571,000		

認定 NPO 申請状況についてのご報告

ASAP は 23 年度中を目標に認定特定 NPO 法人認定の手続きを進めて参りました。認定 NPO になりますと、寄付金に対して税制上の優遇措置がうけられるようになる為審査がかなり細かい部分まで行われます。ある程度は覚悟していたのですが、想像以上に申請に必要な書類やそれに伴う手続きが多く、本業との兼ね合いもあり、残念ながら 23 年度中の申請は断念せざるを得ませんでした。しかし、引き続き手続きを進めておりますので、認定された場合、皆様にはその旨のご案内させていただきます。

..... 編集後記

中国問題が生じてから、カンボジアへ熱い視線が注がれています。既に通訳やガイド料金が値を上げ始め、この先建築費用も上がってくることでしょう。企業が進出すると、都市部と農村部の生活格差がますます大きくなるのではと思います。良い発展の仕方をして欲しいと心から願います (編集 大沼陽子)

支援金寄付について

ご寄付頂く会費又は支援金は下記口座に振り込みをお願い致します。

- * 正会員... 年 20,000 円
- * 賛助会員... 毎月 1,000 円 (年額 12,000 円)
- * その他支援金... 金額を問わず随時受け付けております



■郵便振替口座 00130-2-594647

『NPOアジアの子供たちの就学を支援する会』

■西武信用金庫 秋川支店 033

普通口座 1292601

口座名 『NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会
理事長 長谷川 安年 (ハセガワ ヤストシ)』

***注 同封の振込み用紙は振り込み料がかかりません。ご記入の上ご利用下さい**

あきる野多摩川学園カンボジア通信

ASAP 会報 Vol.10 2012.10

■発行 ※NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会
(省略 “ASAP” Asia School Attendance Partnership)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間 429 番地

TEL 042-558-0218 (多摩川幼稚園内)

FAX 042-550-2467

メールアドレス asap@tamagawa-kids.jp

ホームページ <http://www.tamagawa-kids.jp/asap/>

■発行人 長谷川 安年